



こいのぼり泳ぐ神池の空

4月15日から5月12日にかけて、物部町神池の女池の上にこいのぼりとフラフが揚げられ、訪れた人々の目を楽しませました。

これは、地域住民が神池に人を呼び込もうと平成24年から行っているもので、今年で7回目。

毎年揚げ続けてきたこいのぼりは傷みが激しく、年々その数を減らし、昨年の掲揚期間終了後には次回の開催が危ぶまれるほどでした。しかし、その状況を高知新聞が伝えたところ、市内外からこいのぼり約180匹、フラフ約25枚が寄せられたとのこと。

今年も無事に揚げてもらったこいのぼりは気持ち良さそうに風に泳ぎ、神池の空を鮮やかに彩っていました。



少年剣士 躍動!

4月29日、香北体育センター（香北町吉野）で第13回香美市体力づくり少年剣道錬成大会が行われました。

市内外の学校・団体から66チーム、369人が参加し、小・中・高校生の3部門で熱戦が繰り広げられました。

市内の関係チームでは、小学生団体の部で山田少年剣道部が見事3位入賞しました。参加した選手らはレベルの高い試合に刺激を受けた様子で、良い経験になったようです。

アンパンマンから贈り物

4月21日、玩具製造メーカー・アガツマから香美市へ、アンパンマンキャラクターの幼児向け知育玩具が寄贈され、市立やなせたかし記念館で贈呈式が行われました。

これは、故やなせたかし先生の故郷である香美市に毎年贈られているものです。当日は、おもちゃ大使を務めた子どもたちから、生涯学習振興課の岡本課長に目録が手渡されました。

寄贈された玩具は、市内の保育園や幼稚園などに配られ、たくさん子どもたちを笑顔にしてくれることと思います。



▲ポーズを決めるおもちゃ大使の子どもたち

熱戦! ペタンクリーグ

3月1日から3月29日にかけて、香美市総合型競技施設（香北町美良布）で第12回美良布地区公民館長杯ナイターペタンクリーグが開催されました。

今年は12チームが参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、真剣勝負を楽しみました。

- 優勝 土佐山田B（9勝2敗）
- 2位 アミーゴI（8勝3敗）
- 3位 楽虎会（7勝4敗）



▲優勝した土佐山田B（左から前田和宏さん、大和巳紗さん、吉本幸雄さん）

物部の地域医療発展に貢献

市立大柵診療所で、長年にわたり地域医療の発展に尽力されたとして、医師の黄永彦さんと林雪恵さんに感謝状が贈呈されました。

黄永彦さん（物部町大柵）

昭和60年から旧物部村立高尾診療所に勤務。平成6年に移転して大柵診療所となつてからは、所長として診療所に住み込み、昼夜を問わず地域医療の発展に大きく貢献されました。

林雪恵さん（物部町大柵）

昭和56年から旧物部村立高尾診療所に勤務。地域密着の診療所として、長年にわたり住民を第一に考えた姿勢を貫き、地域医療の発展に大きく貢献されました。



▲右から黄永彦さん、林雪恵さん

マレットゴルフで交流

4月22日、土佐山田マレットゴルフ場（土佐山田町予岳）で、高知マレットゴルフ協会創立20周年記念大会が開催され、法光院市長の始球式でゲームがスタートしました。

大会には、96歳の男性をはじめ、県内外から77人が参加しました。選手らは爽やかな青空の下、36ホール熱戦を繰り広げながら交流を深め、プレーを楽しんでいました。



集落活動センターひらやま

▲地域住民も集まって記念撮影。笑顔の一日となった

4月28日、土佐山田町平山・東川・曾我部川・大法寺北部の4地区で取り組む集落活動センターひらやまの開所式が行われました。

当日は、尾崎知事や法光院市長をはじめとした来賓のほか、大勢の地域住民が集まり、地域の新しい船出を盛大に祝いました。

平山地域では、かねてから旧平山小学校を活用した『ほっと平山』で地域内外との交流が活発に行われています。また、地域内には平山地区振興協議会や老人クラブ、婦人会などさまざまな活動団体があり、近年では平山青年団も復活し話題となりました。

今後は、人口減少や高齢化など、中山間地域が抱える課題に向き合いながら、平山青年団など地域の若者を中心に、若者から高齢者までが元気に暮らし続けられる地域を目指した活動を進めていきます。



新美良布直販店で新鮮野菜

3月16日、美良布直販店がリニューアルオープンしました。これは、集落活動センター美良布の開所に合わせ、一体型の施設として整備されたものです。

木材をふんだんに使用した木の香る真新しい施設には、新鮮野菜をはじめとしたいろいろな地場産品が並べられ、多くの買い物客でにぎわいました。

今後、交流スペースとレストランの整備が7月下旬に完成予定で、地域の人たちが集まる集落の拠点として、大きな役割を果たしていくこととなります。